

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	1292700042
法人名	医療法人社団 創造会
事業所名	グループホーム 寿
訪問調査日	平成 20 年 5 月 30 日
評価確定日	平成 20 年 6 月 16 日
評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	1292700042		
法人名	医療法人社団 創造会		
事業所名	グループホーム 寿		
所在地	千葉県我孫子市寿2-16-5 (電話) 04-7179-6600		

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	平成20年 5月30日	評価確定日	平成20年6月16日

【情報提供票より】(平成20年 5月 6日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年 6月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	17 人	常勤 7人, 非常勤 10人, 常勤換算	12.9人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	1 階建ての 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	70,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	有() 円 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 300,000 円 無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,600 円		

(4) 利用者の概要(5月 6日現在)

利用者人数	9 名	男性 0 名	女性 9 名
要介護1	3 名	要介護2	1 名
要介護3	4 名	要介護4	1 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 85.2 歳	最低 70 歳	最高 96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団 創造会 平和台病院、 みどり歯科		
---------	-------------------------	--	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

緑の多い閑静な住宅街の中に「グループホーム 寿」がある。明るい色合いの1階建てで、玄関を同じくして小規模多機能施設が併設されている。施設内は全面バリアフリーでゆったりとしたスペースが確保されており、明るい色調の家具で統一されて家庭的な温かい雰囲気となっている。グループホームの入居者と小規模多機能施設の利用者は、両施設の職員を介して馴染みの関係を築き、日々のレクリエーションや合同行事等で交流を深めている。職員は、施設が「地域に密着した居心地の良い広場」となる事を目指し、一人ひとりに合わせた柔軟な対応で、暖かなサービスの提供に努めている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価で指摘された改善点は、運営推進会議・家族会・職員会議等で話し合い、適切な改善がなされている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価においては、職員の意見を取り入れて管理者が作成しており、職員は外部評価の意義を理解している。改善点については、運営推進会議・家族会・職員会議等で検討し改善を図り、サービスの向上に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	市職員・家族会代表・自治会長・民生委員会長・法人代表・施設関係者を構成員として、3ヶ月に1回運営推進会議を開催している。会議では活動状況等の報告、事業所への意向や意見の報告、情報交換等を行い、地域の理解促進とサービスの向上を図っている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	苦情窓口を設置すると共に、家族の面会時に意見・要望等の確認を行っている。また、家族会・運営推進会議等でも意見や要望等の確認を行っている。挙がった意見や要望については、職員会議等で検討し適切な対応を図り、家族へ報告を行っている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に加入しており、お祭り等の行事や、ゴミゼロ運動等の地域活動に積極的に参加している。また、町内会広報誌に毎月コラムを執筆し、地域住民との交流を深めている。介護相談や指導も行って地域貢献に努めている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「住み慣れた環境の中で、自分らしく生き生きとした生活」を主眼として、地域密着を意識した独自の理念を掲げている。家族との絆を大切に考え、温かいサービスの提供に努めている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所内に理念を掲示すると共に、職員会議等で確認を行い職員全員で理念を共有している。職員は常に理念を意識しながら、一人ひとりに合わせた柔軟な支援を行っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており、お祭り等の行事や、ゴミゼロ運動等の地域活動に積極的に参加している。また、町内会広報誌に毎月コラムを執筆し、地域住民との交流を深めている。介護相談や指導も行っており地域貢献に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価においては、職員の意見を取り入れて管理者が作成しており、職員は外部評価の意義を理解している。改善点については、運営推進会議・家族会・職員会議等で検討し改善を図り、サービスの向上に取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市職員・家族会代表・自治会長・民生委員長・法人代表・施設関係者を構成員として、3ヶ月に1回運営推進会議を開催している。会議では活動状況等の報告、事業所への意向や意見の報告、情報交換等を行い、地域の理解促進とサービスの向上を図っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	我孫子市介護サービス事業者連絡協議会の運営委員を務めており、市担当者と協議会で意見交換を行っている。他にも、施設運営全般に関する相談を随時行っている。また、事業所は介護予防拠点となっており、市と連携を取りながら介護予防に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時や電話にて、入居者の生活状況等の報告を行っている。また、状況に変化があった場合は随時電話連絡を行っている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情窓口を設置すると共に、家族の面会時に意見・要望等の確認を行っている。また、家族会・運営推進会議等でも意見や要望等の確認を行っている。挙げた意見や要望については、職員会議等で検討し適切な対応を図り、家族へ報告を行っている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動は最小限に抑え、利用者との馴染み関係の継続を図っている。退職者があった場合は、利用者の様子を見ながら報告を行っている。また、入職があった場合は、紹介や挨拶を行い、できるだけ早く馴染みの関係が築けるよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修には積極的に参加しており、研修参加後は報告会や資料の閲覧等を通じて職員全員に周知している。また、採用時研修や月1回の法人内研修も行っており、職員の育成とサービスの質の向上に努めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	介護サービス事業者連絡協議会や地域のグループホーム連絡会を通じて、積極的に同業者との交流を図っている。情報交換や勉強会等を行ない、サービスの質の向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学や体験入居を実施しており、入居前に雰囲気慣れてもらうよう努めている。入居時に、本人や家族の状況や意向を把握している。入居後は、本人のペースや意向に合わせた柔軟な対応で、入居者と馴染みの関係を築き、安心して生活が送れるよう支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者の希望や能力に応じて、家事等の生活活動を共同で行なっている。職員は、入居者を人生の先輩として敬い、豊富な経験と知識から学びを得ながら、生活の支援を行なっている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に本人や家族から意向や身体状況等を確認している。また、日々の生活や会話の中から本人の意向の把握に努め、入居者本位の生活ができるよう心がけている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画においては、職員・本人・家族等が話し合い、介護計画作成担当者が、本人や家族の意向を取り入れて作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	月1回計画の評価、見直しを行なっている。生活状況に変化があった場合や必要であると判断された場合は、その都度見直しを行っている。また、見直しの際は、職員・本人・家族等が話し合い、介護計画作成担当者が、本人や家族の意向を取り入れて作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入院時においてのお見舞いと医師への状況確認を行い、早期退院に向けての支援を行っている。また、買い物の付添い支援等、本人の希望に応じて柔軟な対応を行なっている。月1回の出張容も実施され、身だしなみの支援も行なっている。また、併設の小規模多機能施設の利用者との交流も盛んに行なわれ、体操・趣味・レクリエーション・合同行事等で生活の活性化を図っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携病院以外にも、かかりつけ医への受診が可能となっている。通院においては、希望により職員が付き添いを行なっている。事業所への訪問歯科の受診も可能となっている。また、看護師の職員による状況に応じた適切な健康管理がなされている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約書に施設の方針が明示されており、家族の了承を得ている。重度化した場合や終末期においては、家族や医師と相談し、施設として出来る最大限の支援を行っている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の書類等に付いては鍵のかかる場所に保管し、個人情報の保護を図っている。職員は接遇マナー研修を受け、言葉遣いに注意を払い、入居者のプライバシーを損ねないよう配慮している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の生活に日課の取り決めは無く、一人ひとりのペースで希望に沿った自由な生活を支援している。希望を言い出せない入居者に対しては、職員の言葉かけの工夫や家族からの情報によって、希望を把握するように努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の希望や能力に応じて、調理や食事の準備、後片付け等を共同で行い、職員と入居者が食卓を共にして食を楽しんでいる。また、頻繁に外食会も実施され食の楽しみを支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	浴室は広く暖房が完備され、脱衣所から直接トイレに行ける使いやすい造りになっている。入浴は利用者の希望に応じ、時間や回数等柔軟に対応できる体制を取っている。入浴拒否については、言葉掛けやタイミングを工夫し清潔保持に努めている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の希望や能力に応じて、家事や畑仕事、季節の飾りつけ等の生活活動を共同で行なっている。ボランティアを受入れての趣味活動、レクリエーションの提供を行い入居者は自由に参加している。また、併設の小規模多機能施設との合同行事や外出会、近隣小学生の職場体験を通じての世代間交流等、多彩な楽しみごとや気晴らしの支援を行なっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の希望に応じて、散歩や買い物、外食等の外出支援を行なっている。また、初詣・豆まき・お祭り等近隣での季節行事へも出掛け、戸外での楽しみや季節感を大切にしている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	安全面から正面玄関は、内側から暗証番号を押して開閉するようになっている。利用者の希望に応じて開錠し、自由な外出の支援が行なわれている。各居室には鍵が設置され、プライバシーへの配慮がなされている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署員と共に、年2回の消防・避難訓練を実施しており、入居者も参加して消火訓練も行なっている。避難マップが掲示されていると共に、非常持ち出し袋や水・非常食の備蓄も常備されている。また、自治会を通じて地域へ訓練の参加や協力を働きかけている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>嗜好や能力に応じた食事提供を行なっていると共に、食事や水分摂取の記録を行なっている。摂取量が少ない場合は、本人の好物や食べやすい物等に対応し、必要な栄養補給を行っている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>全面バリアフリーとなっており、玄関、浴室、トイレ等ゆったりとしたスペースが確保されている。施設内は明るい色調の家具で統一され、家庭的な温かい雰囲気となっている。また、ウッドデッキも設置され洗濯や、お茶を楽しむ事も出来る。壁には行事の写真や入居者の作品が掲示され、明るく楽しく過ごせるように工夫がされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者の希望により馴染みの物を持ち込む事が可能となっており、居心地よく生活出来るよう配慮されている。また、希望があれば畳を敷く事も可能となっている。大きなクローゼットが設置されており収納スペースも広い。全居室にエアコンが設置され、職員によって適切な空調管理がなされている。</p>		